

10月2日に 大隅半島東方沖M5.8 が発生し、鹿児島、宮崎ほか九州全般が揺れました。この地震は残念ながら直前の予知が出来ませんでしたが 対応すると思われるデータは 9月5日に【鹿児島始良】で出た、約 19 万の幅のある大きな 1 本立ちが関連すると思われます。このデータは単独の大きな 1 本立ちでしたが、その後 26 日間を過ぎて、今回の地震が起きています。このような、大きく幅のある 1 本立ちや塊状データが出てから 20 日から 1 か月程度が経ってからの発震は よくあるケースで、かえって数日後というように、短時間での発震が珍しいとも言えます。9月5日に【鹿児島始良】で約 19 万の幅のある大きな 1 本立ち出てからの逆ラジオ通信の抜粋を以下に載せます。

<逆ラジオ通信の抜粋>

9月28日 ★★逆ラジオ通信★★ No.38W-220928

◇九州、沖縄地方の概要◇ 【鹿児島始良】の大きな 1 本立ちと【佐賀】の減衰、また 9/27 の【佐賀】【熊本宇城】【大分別府】の同期した 1 本立ちなどから、近くの中規模地震の可能性を考えます。

9月21日★★逆ラジオ通信★★ No.37W-220921

前回【鹿児島始良】で 9/5 にデータが約 19 万に急増し、幅のある大きな 1 本立ちになって、中間の熊本などに中規模地震の可能性を考えます、としましたが「9/18 沖縄本島北西沖 M5.5、最大震度 3」など、沖縄周辺に大きな地震が続いています

9月14日★★逆ラジオ通信★★ No.36W-220914

九州では 【鹿児島始良】の幅のある大きな 1 本立ちが【山口柳井】と同期していて、中間の熊本などは注意が必要です。

<各地の同期した 1 本立ちについて>

また 先週末 9月 30 日に、お知らせに以下のような記事を書いたように

> 9月 27 日に九州から中国地方、近畿を経て、中部の長野、福井、新潟十日町まで

> 大変広範囲に同期した 1 本立ちが出ていて、仮に何らかの地震性のものであれば

> 大きな規模の地震の可能性が考えられます。

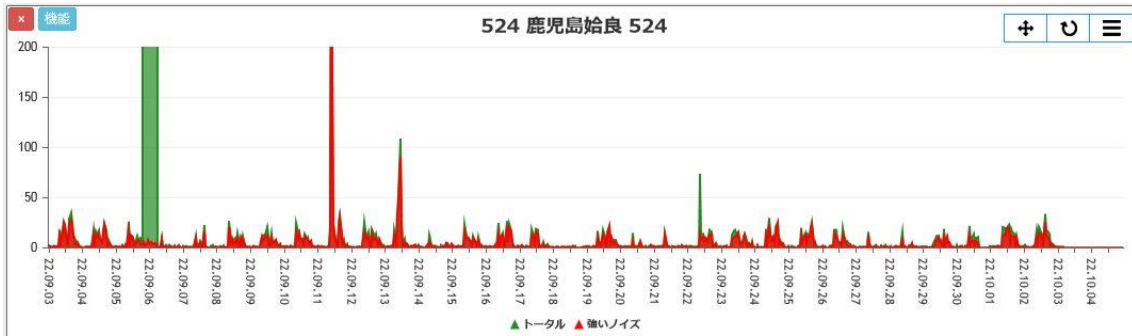
以上のことから、昨日の<<10月2日大隅半島東方沖M5.8>>については、

> 9月5日の約 19 万の幅のある大きな 1 本立ち

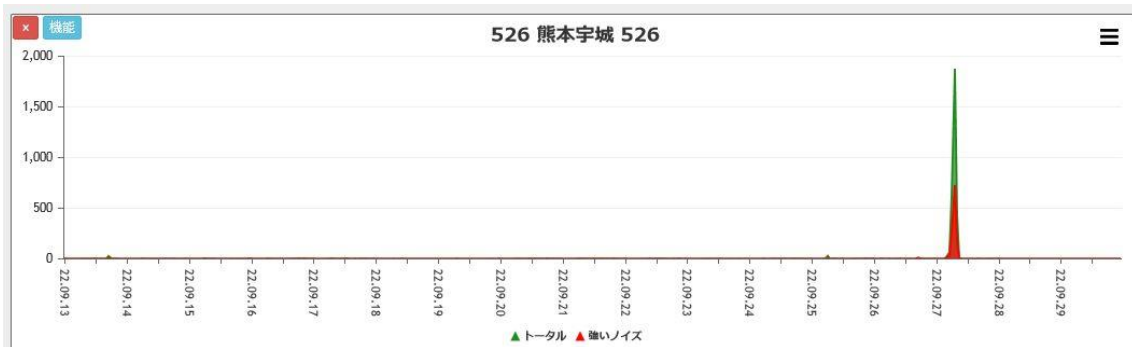
> 9月27日の九州から中国地方、近畿を経て、中部などの大変広範囲に同期した 1 本立ちが関連する可能性があります。

参考まで。

9月5日の約19万の幅のある大きな1本立ち



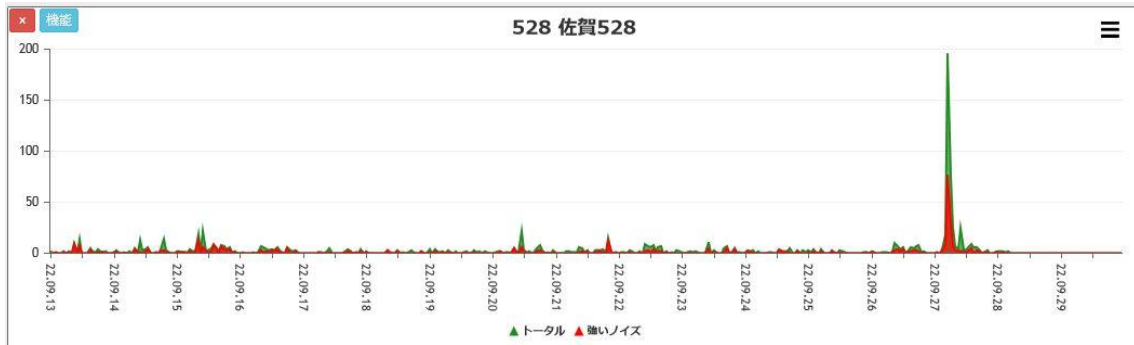
九州>熊本、大分、佐賀の同期した1本立ち
熊本宇城



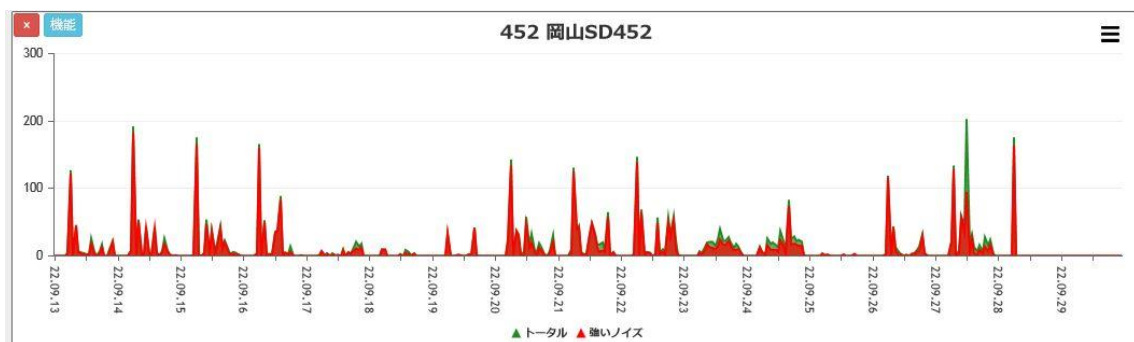
大分 別府



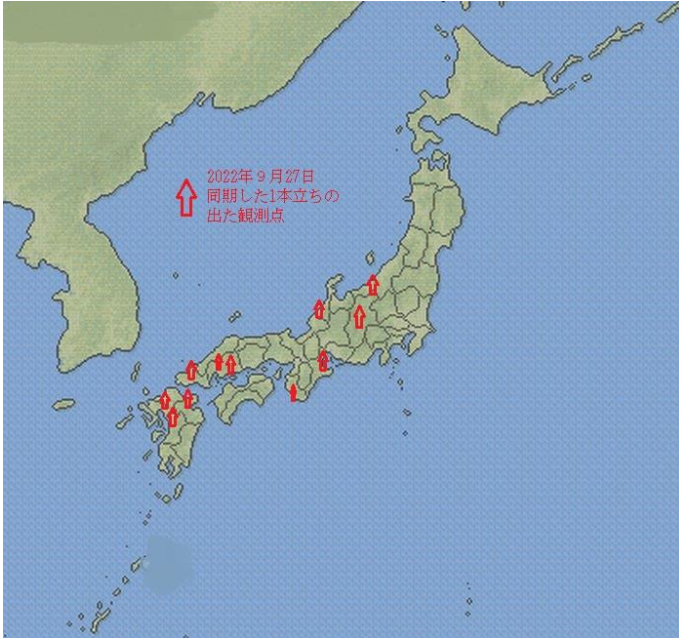
佐賀



中国>山口周南、岡山真庭、岡山



位置関係



2022,10,2 大隅半島東方沖M5.8



| | |
|---------|--------------------|
| 発生時刻 | 2022年10月2日 0時02分ごろ |
| 震源地 | 大隅半島東方沖 |
| 最大震度 | 5弱 |
| マグニチュード | 5.8 |
| 深さ | 30km |

